



2016年 4月 28日

各 位

会社名 トヨタ紡織株式会社
 代表者名 取締役社長 石井 克政
 (コード番号 3116 東証・名証第1部)
 問合せ先 経理部長 岩森 俊一
 (TEL 0566-26-0313)

通期連結業績予想値と実績値並びに個別業績の前期実績値との差異、特別損失の計上及び役員賞与の減額に関するお知らせ

当社は、2016年2月3日に公表した2016年3月期(2015年4月1日～2016年3月31日)の通期連結業績予想値と実績値、個別業績の前期実績値と当期実績値に下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

また、2016年3月期(2015年4月1日～2016年3月31日)の連結決算及び個別決算において、特別損失を計上することとなりましたので、お知らせします。これに伴い、役員賞与を減額することといたしましたので、合わせてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値と実績値との差異(2015年4月1日～2016年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	1,420,000	53,000	53,000	未定	未定
今回実績(B)	1,415,772	59,492	56,123	3,900	21円02銭
増減額(B-A)	△4,227	6,492	3,123	—	
増減率(%)	△0.3	12.3	5.9	—	
(ご参考)前期実績(2015年3月期)	1,305,502	32,393	41,091	5,204	28円08銭

2. 通期個別業績と前期実績値との差異(2015年4月1日～2016年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績(A)	644,303	17,380	35,154	6,252	33円74銭
当期実績(B)	688,425	15,795	28,948	△4,585	△24円72銭
増減額(B-A)	44,122	△1,584	△6,205	△10,838	
増減率(%)	6.8	△9.1	△17.7	—	

3. 差異の理由

(1) 連結業績

売上高につきましては、主に日本での高付加価値製品の販売拡大や北米における主要顧客先向けの販売が好調に推移したものの、客先の工場稼働停止の影響や為替影響などにより前回発表予想を下回りました。営業利益、経常利益につきましては、主に北中南米の収益構造改革効果などにより、前回発表予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、欧州子会社の事業再編による特別損失の計上などにより前期実績値を下回りました。

(2) 個別業績

売上高につきましては、高付加価値製品の販売拡大などにより前期実績値を上回りました。利益につきましては、諸経費や為替影響及び特別損失の計上などにより、前期実績値を下回りました。

4. 特別損失の内容

(金額の単位：百万円)

内 容	金 額	
	連結	個別
減損損失	6,997	—
事業用資産の減損損失の計上		
日本	728	—
北中南米	990	—
アジア・オセアニア	4,322	—
欧州・アフリカ	955	—
関係会社株式・関係会社出資金評価損	—	1,601
日本	—	711
北中南米	—	890
事業整理損等 ※	23,911	19,116
欧州子会社における事業整理のための費用	23,911	19,116
債務保証損失引当金繰入額	—	14,427
製品保証引当金繰入額	1,268	1,268
その他	—	1,215
合 計	32,177	37,630

※2016年3月31日に開示いたしました、欧州子会社における事業再編のための売却価額及びその他再編費用であります。その他の内容につきましては、主に当第4四半期に計上したものであります。

5. 役員賞与の減額

特別損失の計上を真摯に受け止め、取締役、専務役員及び常務役員の賞与を役位に応じて100%から20%の幅で減額いたします。

以 上